

## 優しさ伝える「肩もみ」

子どもの頃、母の日の定番プレゼントと言えば、「肩たたき券」でしたが、肩もみは硬くなった体がほぐれるだけではなく、家族のコミュニケーションとしても役立ちます。肩回りは、細かい筋肉が多く、運動でほぐしきれないこともあります。どうせするのなら、してもらおうなら、より気持ちよく！今回は、肩もみの秘訣をお教えします。



まず押さえておきたい肩もみのポイントは、もむ場所です。

①肩にあるシャツの縫い目のライン ②背骨と肩甲骨の間 ③肩甲骨と首の間 この3点がもみどころです。

もみ始めは手のひら全体を使い、①②③を優しくさするようにします。手を当てて、温めていくイメージです。「手当て」という言葉があるように、ゆっくりさするところから始めると、もまれる人の体が安心します。

相手がリラックス出来たようなら、次は親指の第一関節より先全体を使って、①②③のゾーンに圧をかけていきます。ポイントは、指を体の中心に向かって沈めるように、ゆっくりと力を入れていくことです。ギュッと押し込む短い刺激は、痛だけで効かないので避けましょう。また、効くからといって同じ部位ばかり刺激すると、そこだけ血行が良くなり、肩もみ後に違和感が出やすくなるので、全体を満遍なくもみほぐした後、気持ちのよいポイントを重点的にもむのがオススメです。

最後は首筋です。中央の骨の両側をもむようにします。ぐらつくと力が伝わりにくいので、テーブルなどに額を当てて固定をすることもみやすいです。

力加減は相手の表情を見ながら調整するようにします。マッサージはもむ側ともまれる側が一緒に作るものです。もまれる側も「もう少し強く」「そこが気持ちいい」と伝えてあげるのが良いコミュニケーションに繋がります。

もんでもらう時はあまり厚手ではない服の方が、もむ側の指先の感覚がしっかり伝わります。痛がる刺激はしないのが基本です。炎症や痛み、違和感がある場合は肩もみを控えるようにして下さい。

お互いに優しい気持ちになれる肩もみ、ぜひ試してみてください。

## カピバラにも美肌効果あり！

山口市の湯田温泉の美肌効果をカピバラが立証し、話題となっています。

このユニークな研究は、昨年12月に山口大学の教授らによって発表されました。温泉の効能を動物実験で証明した研究はとても珍しく、この結果が科学的なことだけではなく、地域の活性化にも一役買うのではないかと期待されています。

湯田温泉は、足の傷を癒しに每晚訪れる白いキツネがいたとの伝説が残り「美肌の湯」と言われています。一方、南米の温暖な水辺に生息するカピバラは、日本で過ごしていると冬に皮膚が乾燥し肌荒れを起こしてしまうことに注目し、この研究が始まりました。

研究は、温泉の湯を山口県美祢市の秋吉台自然動物公園サファリランドに運び、カピバラ9匹を21日間、毎日15分ずつ入浴させるという方法で行いました。その結果、肌の色素成分のメラニン量は1割ほど減少し、水分量が約3倍に増加、美肌効果を確認しました。また、入浴時にカピバラが目をつむる頻度が平時の4倍に増え、リラックス効果があることも分かったそうです。



## <今週のオススメレシピ♪ たけのこと豚肉の炒めもの★>

【材料(2人分)】

茹でたけのこ(100g) 豚肉(100g) 酒(大さじ1/2) 片栗粉(小さじ1/4) 醤油(小さじ1) 塩(少々)

【作り方】

- ①たけのこは幅1cmのくし形に切る。豚肉は一口大に切り、酒・塩(少々)・こしょう(少々)で下味をつける
- ②フライパンに油をひき、たけのこをしっかり焼いて、いったん取り出す
- ③②のフライパンに豚肉を入れ、しっかり炒め、醤油を入れて、さらに炒める
- ④③に②のたけのこを戻し、塩(少々)で味を調えたら出来上がり！

